

2021年9月30日

相模原市

令和3年度相模原市IR資料



潤水都市 さがみはら

トピックス	3
1. 相模原市のプロフィール	7
2. 財政状況について	11
3. 「潤水都市さがみはら」の 発展の可能性について	21
4. 堅実な財政運営の堅持に向けて	23
5. 市債運営について	27
お問い合わせ先	

トピックス-1

相模原市行財政構造改革プランを策定

本市の財政状況

総額約816億円の
歳出超過となる見込み
[R3～R9]

- 扶助費が増加傾向
- 市税収入の確保等に繋がる投資的経費が極めて少ない
- 財政調整基金の残高の減少・・・等

プランの策定

相模原市
行財政構造改革プラン

- 上記財政状況を踏まえ、基本構想で描く将来像を実現するために「相模原市行財政構造改革プラン」を策定
- 計画期間は[第1期：R3～R5][第2期：R6～R9]
- 歳出では、事業の選択や集中、公共施設等の見直しを実施
- 歳入では、市税収入や特定財源の積極的な確保等を実施

プランの周知や説明



行財政構造改革プランの説明会について

「相模原市行財政構造改革プラン」の内容について、次のとおり説明会を開催します。

①日時・場所

回	日程	時間	場所	定員	募集開始
1回目	令和3年10月27日(水)	18時～20時頃	相模女子大学グリーンホール (大ホール)	未定	受付中
2回目	令和3年11月14日(日)	14時～16時頃	津久井中央公民館 (ホール)	未定	受付中
3回目	令和3年11月22日(月)	18時～20時頃	相模原市民会館 (ホール)	未定	11/1～
4回目	令和3年12月22日(水)	18時～20時頃	杜のホールはしもと (ホール)	未定	12/1～

※ 新型コロナウイルスの感染状況により、中止・変更となる場合があります。

※ 定員については決まり次第お知らせします。

- 広報誌(広報さがみはら)にプランの策定について周知を実施
- 説明用資料として漫画を用いたパンフレットを作成し、HPや各出先機関においてプランの周知を実施
- 市内の各施設にて市長による説明会を実施予定

トピックス-2

ふるさと納税自動販売機を設置！

寄附金制度の推移

- 平成24年より暮らし潤いさがみはら寄附金制度を開始
- 平成28年より「返礼品ありコース(地方創生さがみはら地域活性化応援コース)」を開始
- 令和2年に「返礼品ありコース」の寄附金受納額が2億円を突破
- 現在は以下の3サイトにて受付を実施
楽天ふるさと納税、ふるさとチョイス、ふるさとプレミアム
- 返礼品の登録数は153品(令和3年7月時点)



制度活用推進

- 令和3年8月10日より、さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト(相模原市緑区若柳1634 番地)に市(政令市)として初の「ふるさと納税自動販売機」を設置
- 施設内やキャンプ場、隣接する温泉施設などで当日から使用可能なギフトチケットを返礼品として提供
- 1万円単位で納税が可能
- 納税方法は、現金及びクレジットカード



トピックス-3

財政状況

財政健全化指標の状況

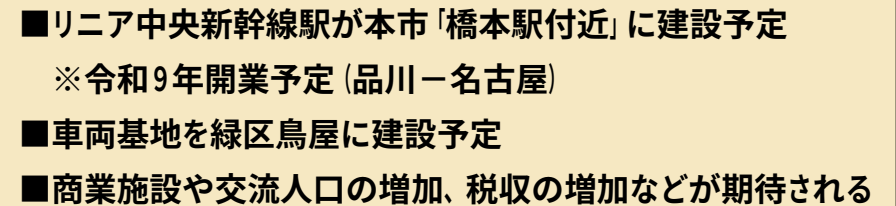
- 1 実質公債費比率は 20指定都市で1位
- 2 将来負担比率は 20指定都市で5位
- 3 財政力指数は 20指定都市で10位
- 4 全債務の歳入に対する割合※は 20指定都市で1位

(令和2年度決算)

相模原市は、財政健全化指標の定着等により、格付け取得 (STANDARD&POOR'S社) を平成25年2月からとりやめています。

※全債務の歳入に対する割合: (全会計市債残高+債務負担行為支出予定額) を歳入合計で除した割合 (P17参照)

首都圏南西部の新しい玄関口へ！！



- 令和3年7月2日からJR藤野駅近くにテレワーク拠点「森のイノベーションラボFUJINO(愛称:森ラボ)」の運営を開始
- ※新宿から電車で約60分(藤野駅から徒歩3分)
- Wi-Fi や複合機、ロッカーやミーティングスペースなどを完備
- 予約不要、実証運営期間(令和4年3月31日まで)に限り無料
- ※複合機利用料等の実費は除く

■シビックプライドを高めることを目的として、
「さがみはらみんなのシビックプライド条例」を制定

■民間の調査結果では、相模原市のシビックプライドの順位が
149位から78位に大幅にランクアップ

1. 相模原市のプロフィール



潤水都市 さがみはら

相模原市の概要-1

潤水都市 さがみはら

Easy Access

産業・経済の発展と市民生活の更なる向上をめざす街、さがみはら。

首都圏の主要都市や羽田空港への好アクセスに加え、小田急多摩線の延伸計画があり、実現されると鉄道ネットワークの更なる強化が見込まれます。

また、日本の新たな大動脈として期待の高まる「リニア中央新幹線」が開業すると、中京圏、近畿圏へのアクセスも一層向上します。



※所要時間は最速表示です

相模原市の概要-2

市の沿革

- 昭和29年 市制施行
- 昭和30年 工場誘致条例制定
- 昭和33年 市街地開発区域第1号指定
- 《内陸工業都市として発展》
- 昭和40年代 年間2万人以上の人口増加を経験
- ベッドタウン化の進行
- 《全国でもまれにみる人口急増都市》
- 平成11年 業務核都市指定
- 平成15年 《中核市へ移行》
- 平成18年 津久井町、相模湖町と合併
- 平成19年 城山町、藤野町と合併
- 平成22年 《指定都市へ移行》
(全国で19番目、戦後誕生した市としては初)
- 平成26年 市制施行60周年
- 令和2年 指定都市移行10周年

67歳

80,991

昭和30年

35年

40年

45年

50年

55年

60年

平成2年

7年

12年

17年

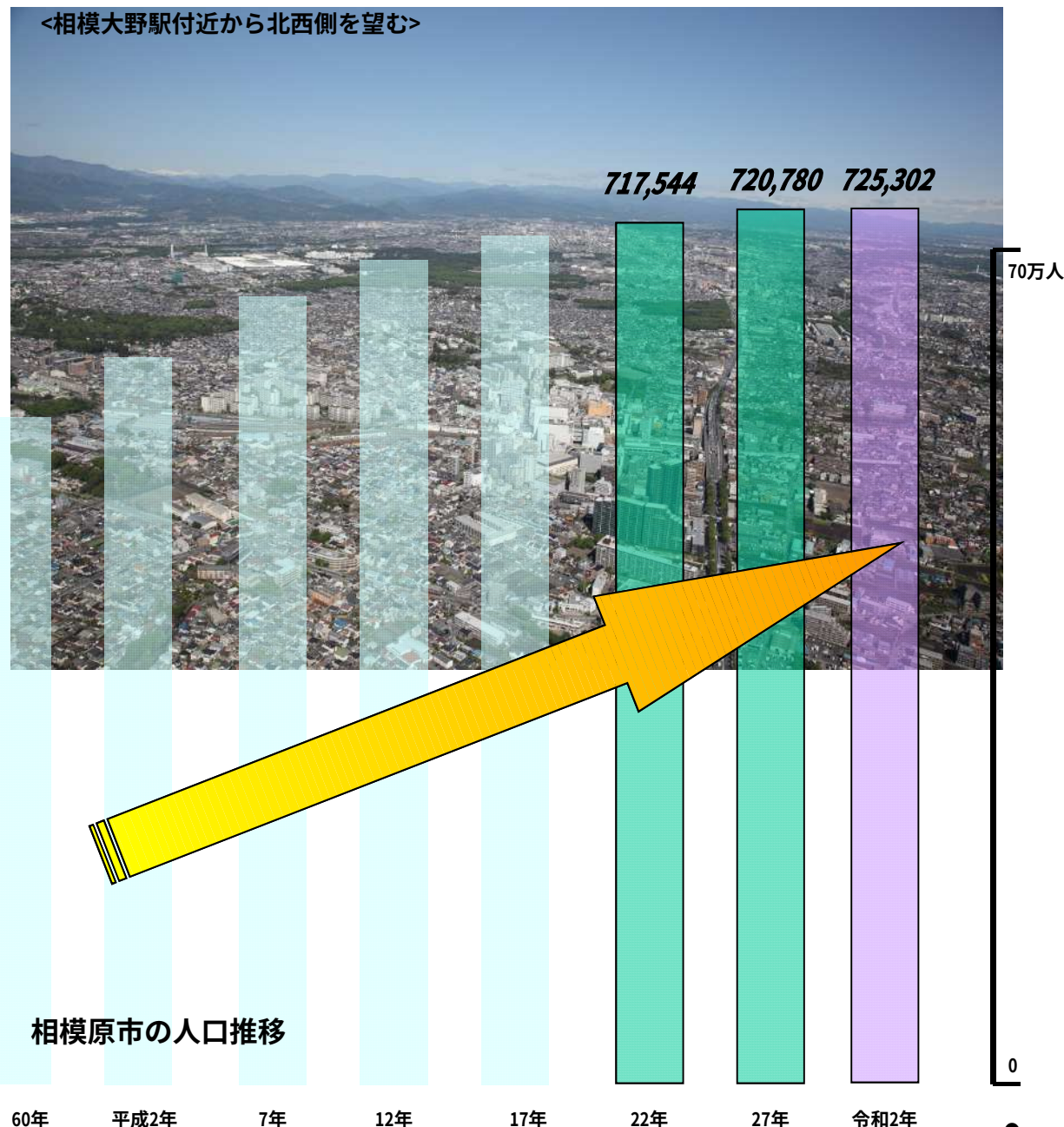
22年

27年

令和2年

相模原市の人口推移

<相模大野駅付近から北西側を望む>



相模原市の概要-3

潤水都市 さがみはら



潤水都市 さがみはら

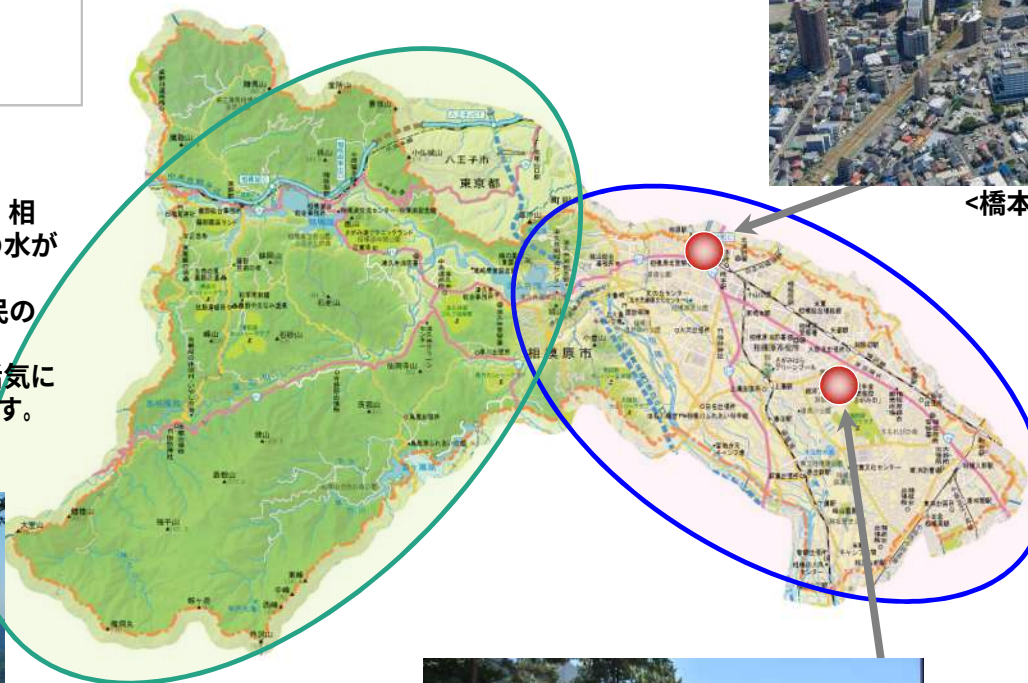
○「潤水都市 さがみはら」 に込められた思い

- ・相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有しています。
- ・清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちています。
- ・戦後生まれ初の政令指定都市で若く活気にあふれ、「純粹」という言葉にかけています。



<相模湖周辺>

西部の津久井地域は、丹沢の山々と湖が、水源地の豊かな自然環境を形成



<橋本駅周辺>

東部の旧相模原市地域は、平坦な市街地において密度の高い土地利用が進む



<JAXA 相模原キャンパス(宇宙科学研究本部)>

美大・医大などの多様な大学やJAXA等、学術・研究機能が集積する都市

2. 財政状況について

小粒だけど堅実な財政運営



財政規模

小粒だけど堅実な財政運営

令和2年度普通会計決算収支状況

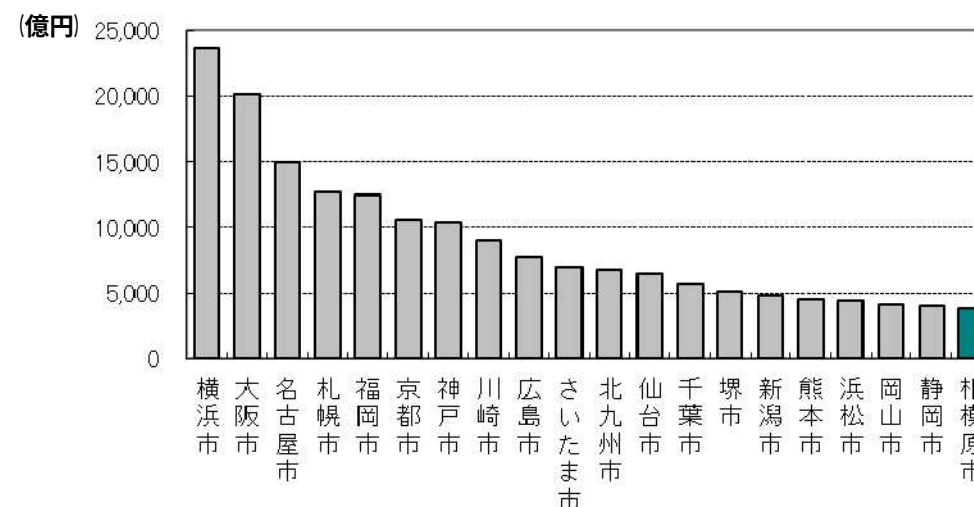
項目	金額	備考
歳入総額	391,464	財政規模は指定都市 20位／20都市 (指定都市の 歳入平均 905,924百万円)
歳出総額	380,200	
歳入歳出差引	11,264	
実質収支	10,089	実質収支比率 5.7%
市民一人あたりの歳出決算額 (千円)	529.1	指定都市 20位／20都市

- 財政規模は指定都市の中で最も小さな規模
- 市民一人あたりの歳出決算額も最も少額

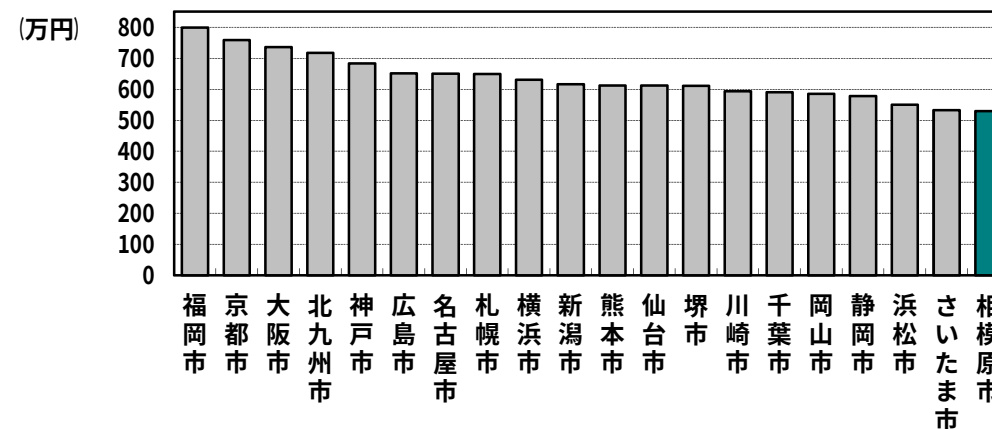
※「一人あたり」の指標の積算は、1月1日現在の住民基本台帳人口割

令和2年度普通会計決算規模

歳出総額比較



市民一人あたりの歳出決算額比較



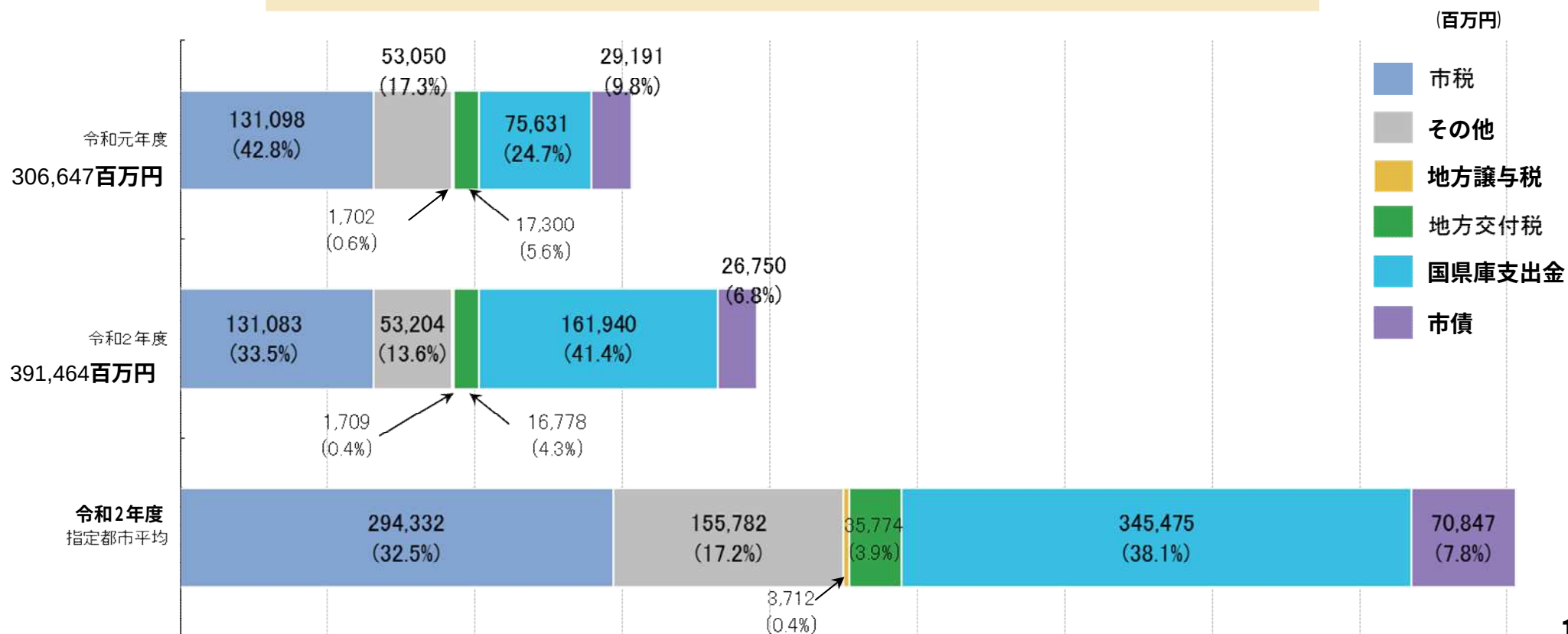
歳入について-1



瀬水都市 さがみはら

歳入

- 歳入は約3,915億円で、前年度より27.7%増加
- 消費税率の引上げの影響による地方消費税交付金の増加や特別定額給付金事業補助金による国庫支出金の増加により歳入総額が大幅に増加

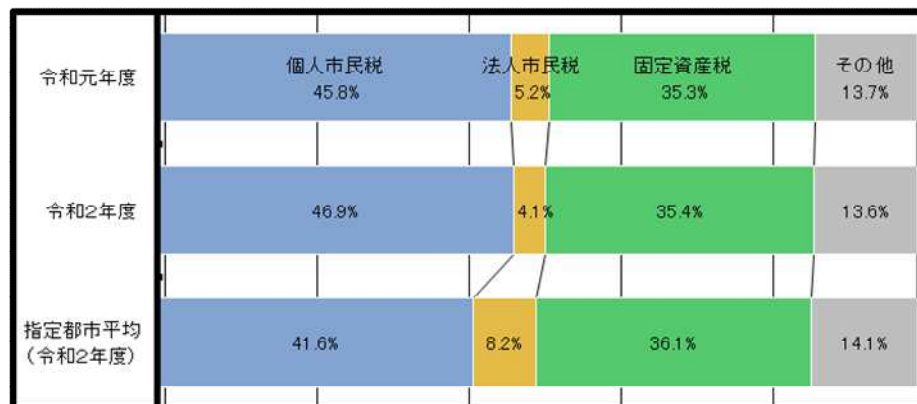


歳入について-2

市税の状況

- 法人市民税が税制改正における税率の引下げ等により減少
- 市税総額は僅かながら減少
- 他市に比べ、個人市民税の割合が大きく、法人市民税の割合が小さい

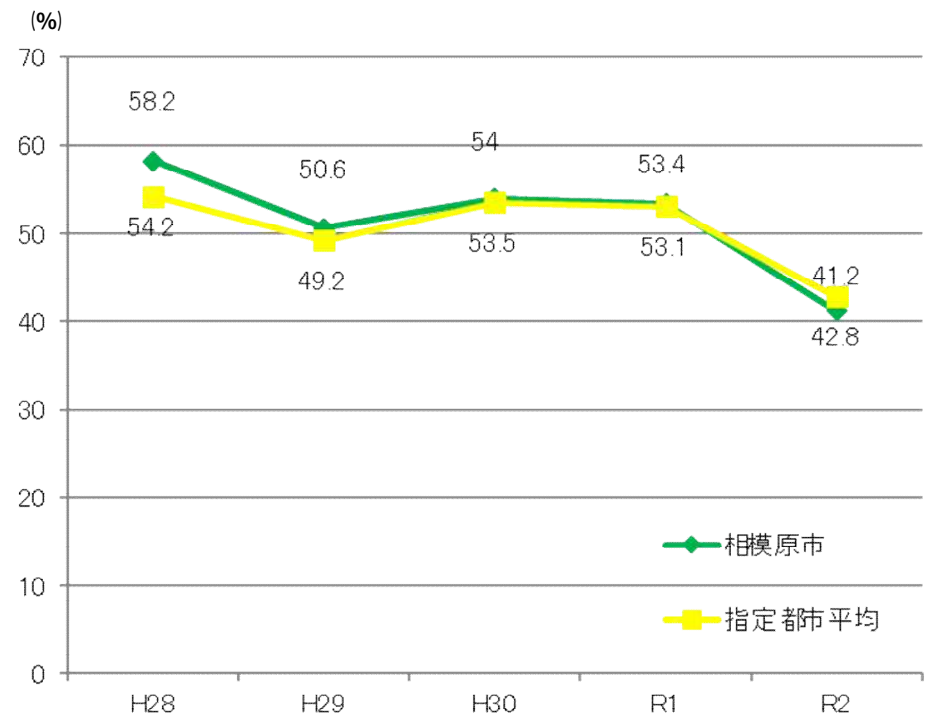
市税収入額 (百万円)	個人 市民税	法人 市民税	固定 資産税	その他	計
令和元年度	60,132	6,493	45,856	18,617	131,098
令和2年度	61,493	5,405	46,380	17,805	131,083



自主財源比率

- 4割以上を自主財源が占める
- 規模は小さくても十分な財源調達

相模原市	指定都市 平均	R元： 9位/20都市 R2： 10位/20都市
41.4%	42.8%	



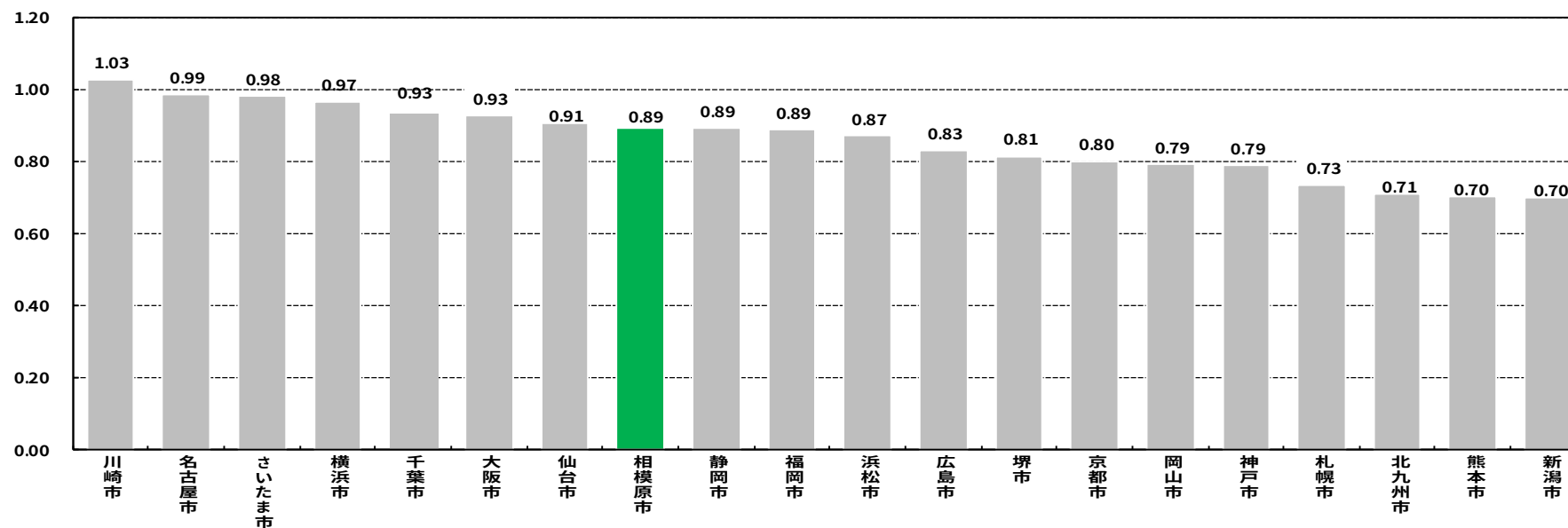
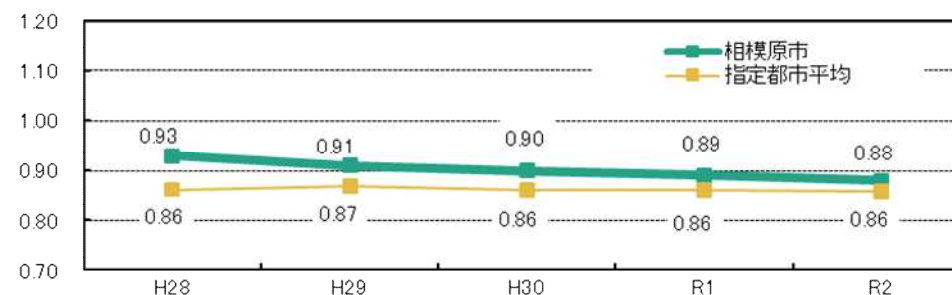
歳入について-3

財政力指数

- 令和2年度の財政力指数 (H30～R2の3ヵ年平均) は「0.88」
- 川崎市、名古屋市、さいたま市、横浜市、大阪市、千葉市、仙台市、福岡市、静岡市について10位

財政力指数 (3ヵ年平均)

相模原市	0.88	10位 / 20都市
指定都市平均	0.86	



- 市税等の自主財源の割合が高く、自立的で安定的な財政運営

歳出について-1

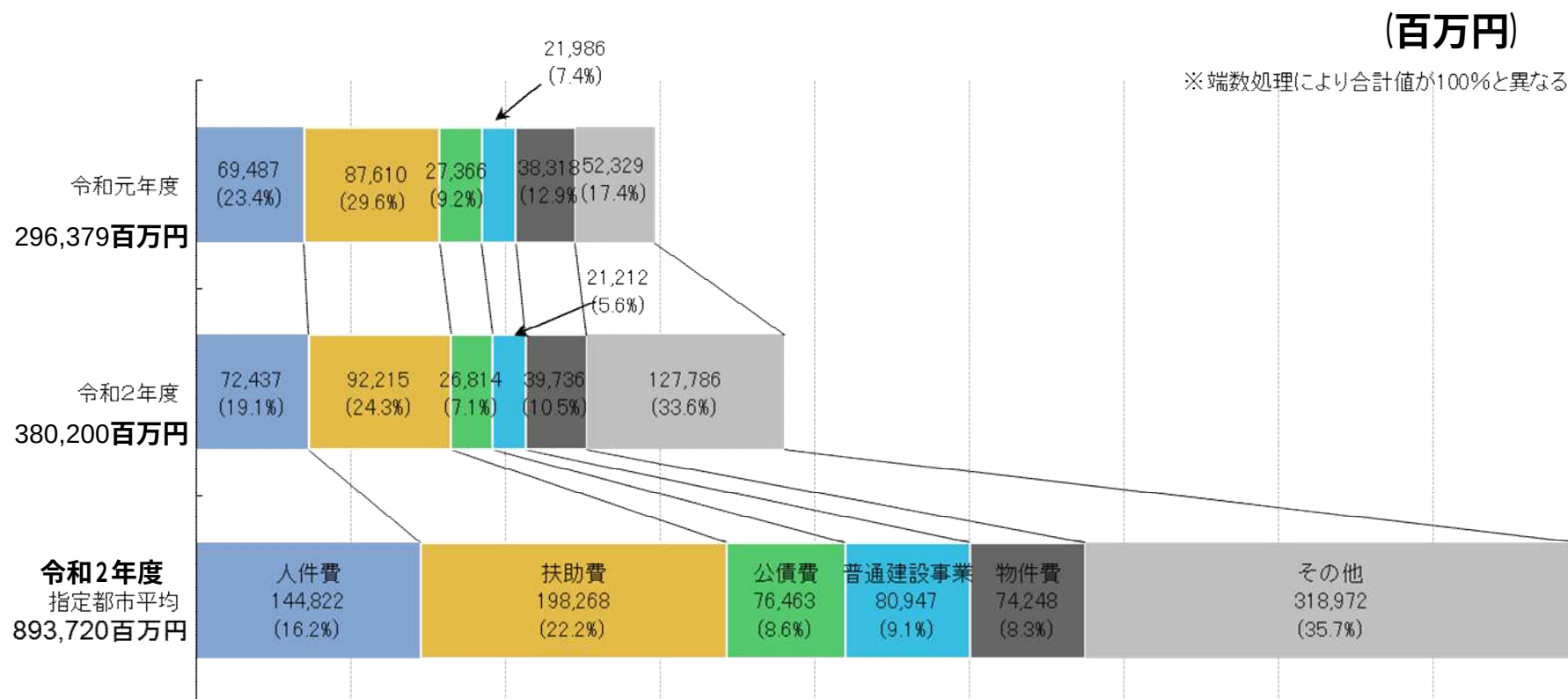
潤水都市 さがみはら

歳出

- 歳出は約3,802億円で、前年度より28.3%増加
- 総務費が特別定額給付金事業の実施等により増加
- 商工費が中小企業景気対策特別融資預託金の増加等により増加
- 他都市に比べ 人件費の割合は高いが、市民一人あたりの人件費は少ない
公債費の割合は低く、市民一人あたりの公債費も少ない

市民一人あたりの人件費
約100,803円 (指定都市8位)
指定都市平均約105,138円

市民一人あたりの公債費
約37,314円 (指定都市1位)
指定都市平均約55,510円





歳出について-2

1 義務的経費の推移

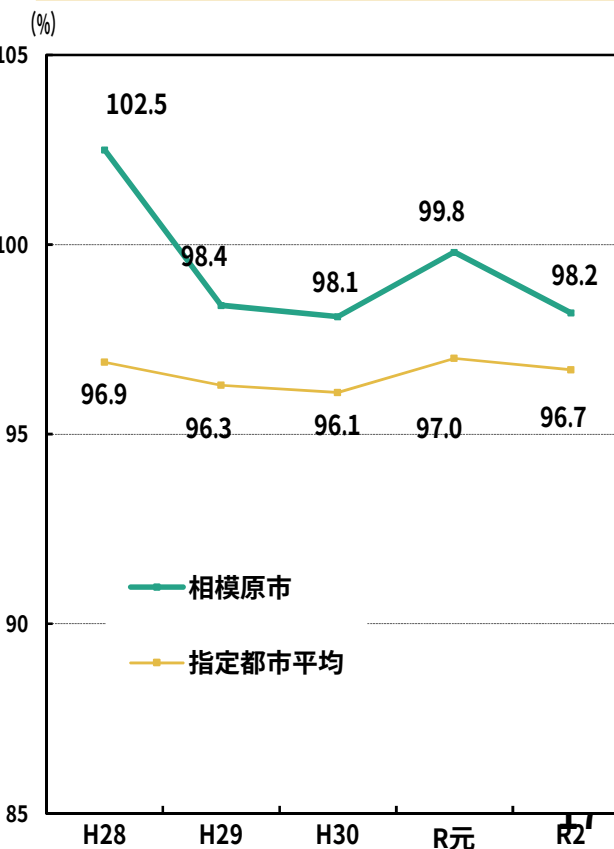
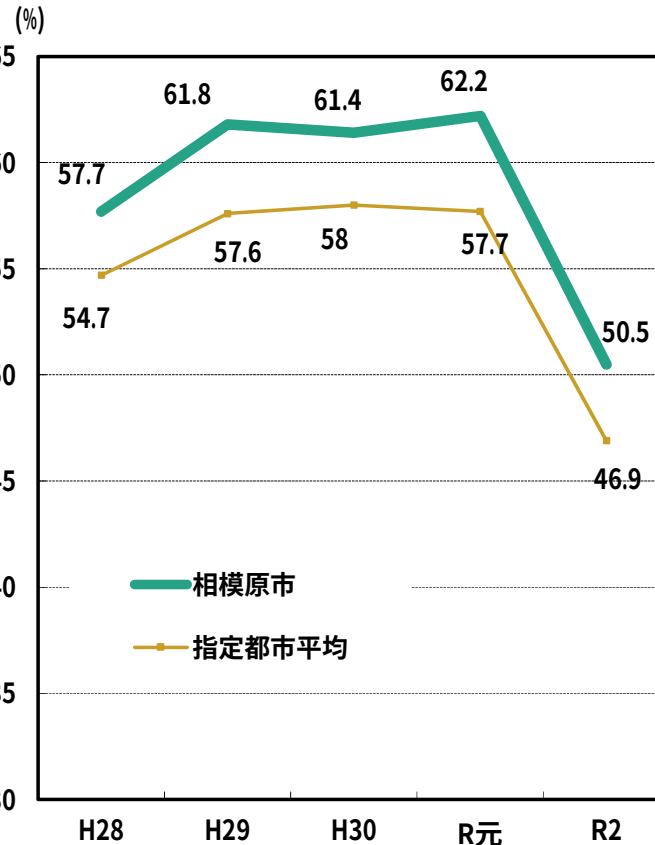
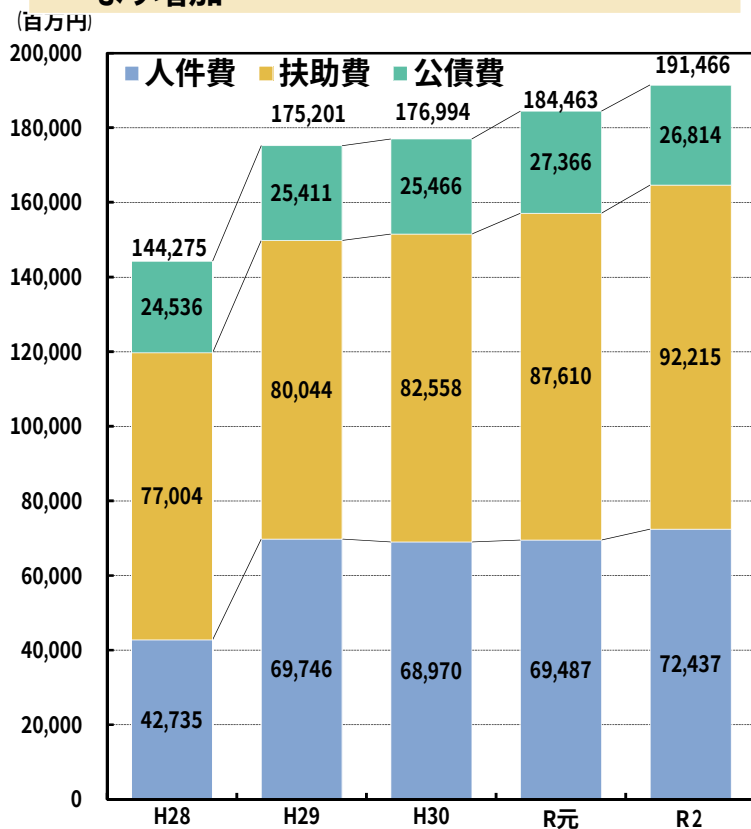
- 人件費 会計年度任用職員制度の導入により、物件費で計上していた非常勤職員に係る賃金等を人件費で計上したこと等により増加
- 扶助費 幼児教育・保育の無償化の通年化等に伴う施設型給付費の増加等により増加

2 歳出に占める義務的経費の割合

- 補助費等の大幅な増加により歳出総額も増加したため、義務的経費の割合は下落

3 経常収支比率

- 扶助費、物件費、補助費等が減少したことにより減少





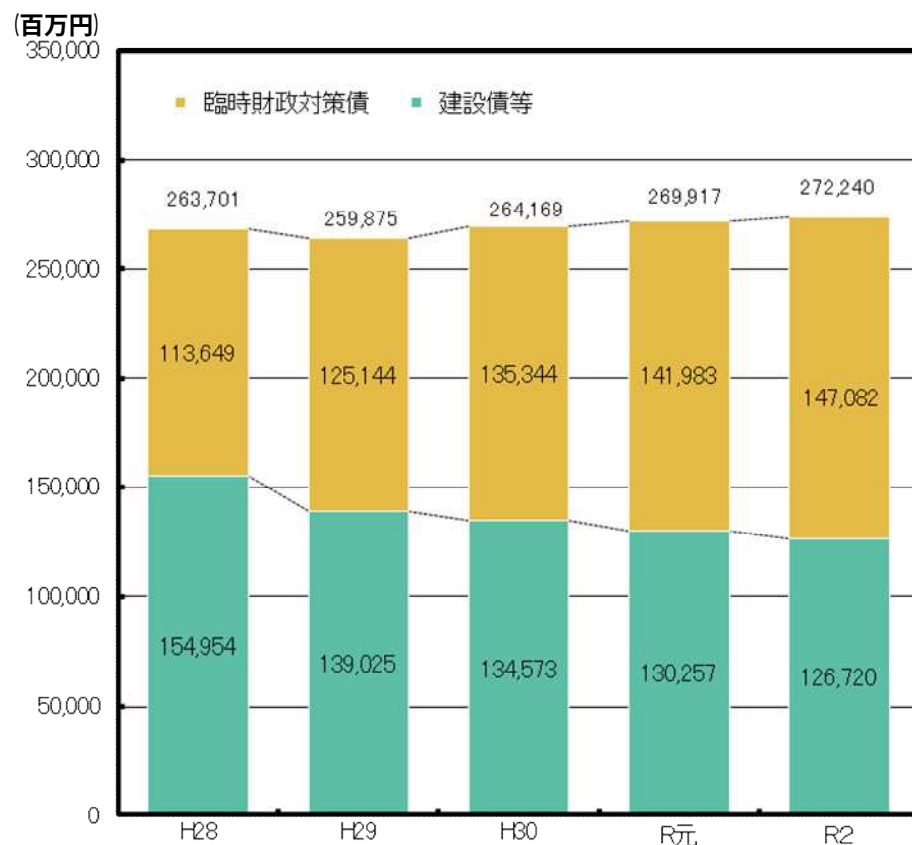
市債残高と財政健全化指標について-1

潤水都市 さがみはら

市債残高の状況

建設債等の残高は前年度に続き若干の減少
臨時財政対策債の残高は年々増加
(残高の約50%を占める)

市債残高 (普通会計)



		令和元年度末	令和2年度末	指定都市 平均	順位 (20市中)
市債残高 (億円)		272,240	273,802	900,299	2位
市民一人あたりの 市債残高 (千円)		379.0	381.0	653.6	3位
歳入総額に対する 市債残高の倍率		0.89	0.70	1.25	3位
健全化指標	実質赤字比率	—	—	—	—
	連結 実質赤字比率	—	—	—	—
	実質公債費 比率	2.7	2.6	7.3	1位
	将来負担比率	31.3	23.9	83.7	5位

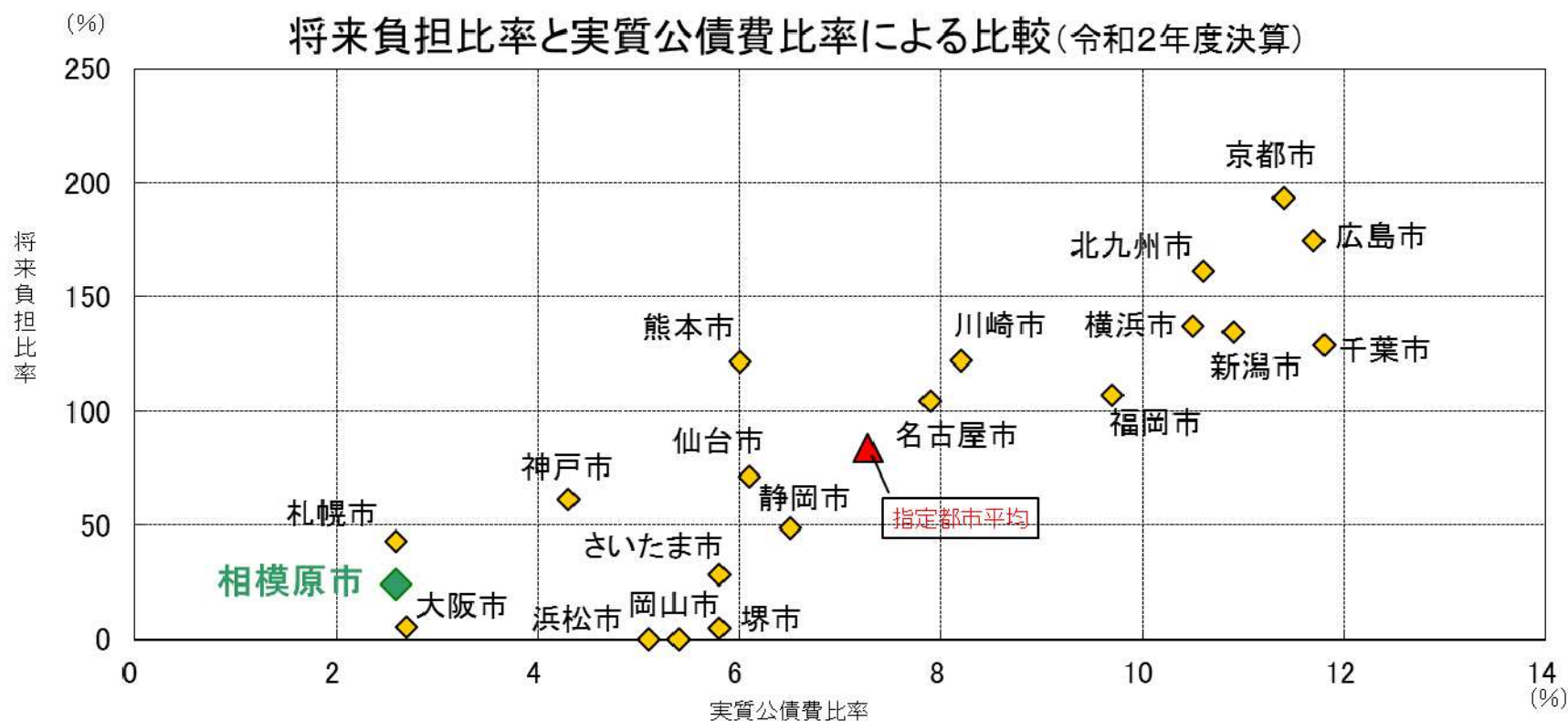
全会計の市債残高と債務負担行為

			(百万円)
令和2年度末現在	相模原市	指定都市平均	指定都市中の相模原市の順位
(A) 全会計の市債残高	376,032	1,533,634	1位
(B) 債務負担行為 翌年度以降支払予定額	46,785	150,495	2位
(C) 計 (A)+(B)	422,817	1,684,129	1位
歳入総額に対する (C)の倍率	1.08	1.86	1位

市債残高と財政健全化指標について-2

健全化指標

- 実質公債費比率は前年度から0.1、将来負担比率は前年度から7.4ポイントそれぞれ減少
- いずれの指標も本市財政の健全性を示すものとなっている



3. 「潤水都市さがみはら」 の発展の可能性

これからの街、さがみはら



潤水都市 さがみはら

4.堅実な財政運営の堅持に向けて



堅実な財政運営の堅持に向けて-1

1 独自に起債上限額をルール化

財政健全化法などで求められる公債費（償還額）や残高の規制だけにとどまらず、平成23年度以降、借入れ時の自主的な目標を設定し、自律的で持続可能な財政運営を目指す

起債上限額の目標設定状況と実績

目標額、実績額は、いずれも一般会計

年 次	上限目標	実 績（うち臨時財政対策債）	備 考
H23～25（3か年）	1,000億円 （平均333億円/年）	993億円（ 424億円）	達成
H26～28（3か年）	950億円 （平均317億円/年）	691億円（ 373億円）	達成
H29～31（R1）（3か年）	300億円 ※臨時財政対策除く （平均100億円/年）	811億円（ 509億円）	達成

2 行財政改革の断行

さがみはら都市経営ビジョン 平成17年策定 ⇒具体的な行動計画としてアクションプランを策定
さがみはら都市経営指針 平成25年策定 ⇒具体的な行動計画として実行計画を策定
第2次さがみはら都市経営指針 平成29年策定 ⇒「新・相模原市総合計画後期実施計画」連携し、具体的な行動計画として実行計画を策定
行財政構造改革プラン 令和3年策定 ⇒持続可能な行財政構造の構築策として、「基準財政モデル」を設定

主な取組

- 新たなまちづくり事業等の選択と集中
- 既存の公共施設等の見直し
- 事務事業の選択と集中
- 外郭団体の経営改革
- 市税収入等の確保対策
- 特定財源の積極的な確保
- 地方交付税等の確保
- 未利用市有地の売却・有効活用

堅実な財政運営の堅持に向けて-2

3 財政情報のスピーディーかつ積極的な公表・公開

市民向け情報、投資家向け情報ともに、適時性を持った積極的な財政情報の公表・公開を推進

相模原市の情報公開に関する特徴的な取り組み

- 財政パンフレット（予算事始）※R元、R2、R3年度分は作成しておりません
- 相模原市財政の状況
- 他都市比較で見る相模原市財政の状況
- 市HPへのIR情報掲載
- 財務諸表関連情報は附表を含め全文を市HPに掲載

（上記情報URL：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1003966/index.html>）

相模原市のIR活動について

- 機関投資家等の個別訪問
- HP等での、適時／公平／継続的な情報公開

5. 市債運営について



市債運営について

- ・資金調達を公的資金から民間資金へシフトし、財政運営の自立性を高めます
- ・相模原市は、市場公募地方債を継続的に発行し、流動性の確保を図ります

資金計画の状況 (一般会計分)

(百万円、%)

資金区分	平成21年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公的資金	14,419 (60.9%)	1,974 (7.4%)	77 (0.2%)	700 (2.0%)
全国型市場公募地方債 (10年債)	0 (0.0%)	10,000 (37.3%)	15,000 (44.0%)	20,000 (55.7%)
住民参加型市場公募地方債 (5年債)	1,000 (4.2%)	0 (0.0%)	※ 0 (0.0%)	※ 0 (0.0%)
銀行等引受債ほか	8,261 (34.9%)	14,807 (55.3%)	14,807 (55.8%)	15,183 (42.3%)

令和3年度第1回相模原市公募公債

愛称名	潤水都市さがみはら債 (10年債)
発行時期	令和3年10月
発行規模	200億円

※住民参加型市場公募地方債については、最近の低金利の市場環境では魅力ある商品性の確保が困難なため、平成28年度より当面の間、発行を休止しています。

お問い合わせ先

相模原市財政局財政部財政課 市債担当

TEL 042-769-8216 FAX 042-751-0208

Mail zaisei@city.sagamihara.kanagawa.jp

HP <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

